



環境活動レポート 2017年度

2018年8月22日作成

対象期間 自2017年7月 至2018年6月

株式会社 横田金属

〒329-4307 栃木県栃木市岩舟町静 3473

TEL 0282-55-4101 FAX 0282-55-1486

<http://yokotakinzoku.net> yokotakinzoku@cocoa.plala.or.jp

目次

1.	事業概要	1
	1. 事業者名	
	2. 所在地事業内容	
	3. 事業規模	
	4. 環境管理責任者	
	5. 環境管理体制組織図施設等の内容	
	6. 処理実績	
	7. 処理工程フロー図	
2.	対象範囲（認証・登録）	1
3.	環境方針	2
4.	環境への負荷状況	2
5.	環境目標	3
6.	環境活動計画	3
7.	環境目標の実績	4
8.	環境活動計画の取組結果とその評価	4
9.	次年度の取組内容	6
10.	環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、 訴訟等の有無	6
	1. 主な環境関連法規等の遵守状況	
	2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	
11.	代表者による全体評価と見直しの結果	7

1. 事業概要

1. 事業者名

株式会社 横田金属 代表取締役 横田守久

2. 所在地

〒329-4307 栃木県栃木市岩舟町静 3473

3. 事業内容

非鉄金属の売買
(買取・選別・切断・圧縮・販売)

取扱品目 銅 黄銅 鉛 アルミニウム ステンレス
特殊金属全般非鉄金属地金 アルミ合金等

4. 事業規模

設立年月日 昭和42年4月3日 資本金 1,000万円 車両台数 12台
売上高 14億円(2017年度) 従業員数 13名 敷地面積 2,955㎡

5. 環境管理責任者

氏名 横田純子 電話 0282-55-4101 FAX 0282-55-1486

6. 環境管理体制組織図

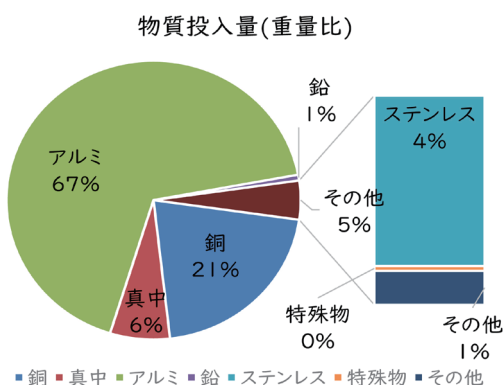


合計 13名

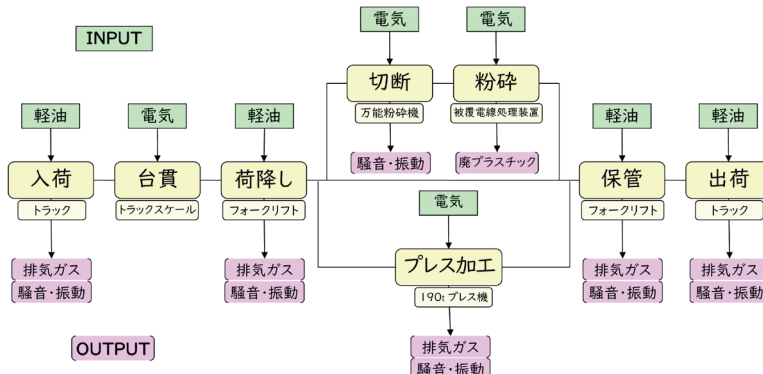
7. 施設等の内容

運搬車両	台数	荷役車両	台数	その他	台数
10tトラック	2	ユンボ	1	台貫(40t)	1
4tトラック	1	回転式フォークリフト(3t)	2	軽量台(2.5t)	1
		回転式フォークリフト(2.5t)	2	プレス機(230t)	1
		ショベルローダー(2.3t)	1	被覆電線処理装置	1
				粉碎機	1
				シャーリング	2
				社用車	3

8. 処理実績



9. 処理工程フロー図



2. 対象範囲(認証・登録)

当社はすべての組織、すべての活動を認証・登録の対象範囲としている。

3. 環境方針

株式会社横田金属は本業である非鉄金属リサイクル事業（銅・アルミなどの売買）を通して、循環型社会の実現に向けて、全従業員を挙げて取り組みます。

また、事業活動に伴う環境負荷の低減を図り、地域社会との調和・共生を目指します。

重点取組事項

1. 重機・車輛用の軽油の消費に伴う、二酸化炭素の排出量を削減します。
2. 工場内設備に使用する電力量を削減します。
3. 自社から発生する廃プラスチック等の廃棄物を削減します。
4. 工場内の3Sを徹底し、安全で明るい職場作りに取り組みます。
5. グリーン購入を推進します。

関連する環境法規制を厳守します。

環境方針を全ての従業員に周知します。

2017年7月7日

株式会社 横田金属
代表取締役 横田守久

4. 環境への負荷状況

環境への負荷		単位	2015年	2016年	2017年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg -CO ₂	76,049	77,105	79,974
	排出係数（東電）		0.525	0.525	0.525
③ 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	産業廃棄物	t	40	27	12
	破碎 最終処分	t			
④ -1 総排水量	公共用水域	m ³			
	下水道	m ³	107	117	100
④ -2 水使用量	上水	m ³	107	117	100
	工業用水	m ³			
	地下水	m ³			
⑥ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）	MJ	375,358	325,923	33,676
	化石燃料	MJ	816,375	867,724	907,616
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			

⑦ 物質使用量	資源使用量	t	5,282	4,984	5,248
	循環資源使用量	t			
⑧ サイト内で循環的利用を行っている物質量等	利用された物質量	t			
	水の利用量	m ³			

5. 環境目標

2016年から3年間の中期目標は以下のとおり

削減項目		2016年	2017年	2018年
二酸化炭素排出抑制 基準値(2015年度) 76,240kg-CO ₂	軽油消費量の削減 基準値 20,498ℓ	△2% 20,088ℓ	△4% 19,678ℓ	△5% 19,473ℓ
	電力使用量の削減 基準値 38,185kWh	△2% 37,421kWh	△4% 36,358kWh	△5% 36,276kWh
廃棄物排出量抑制	産業廃棄物量の削減 基準値 40,090kg	△2% 39,288kg	△4% 38,486kg	△5% 38,085kg
水使用量削減	水使用量の削減 基準値 107 m ³	△2% 105 m ³	△2% 105 m ³	△3% 104 m ³
グリーン購入の推進	グリーン購入対象商品 23品目購入、使用中	プラス2品 25品目	プラス4品 27品目	プラス5品 28品目
事業項目 車輛の燃費向上	3台平均燃費 基準値 3.45 km/ℓ	プラス2% 3.52 km/ℓ	プラス4% 3.70 km/ℓ	プラス5% 3.73 km/ℓ

* 購入電力排出係数 0.530

* グリーン購入対象商品は環境対応商品をすべて含める。

6. 環境活動計画

① 二酸化炭素排出抑制

軽油消費量削減

重機用軽油の効率的使用

- ・ 定期点検・整備を行う。
- ・ 定速走行を心掛ける。
- ・ 整理整頓による短距離走行を行う。

車輛の燃費向上

- ・ エコドライブの推進
- ・ 各トラックの燃費を把握する。
- ・ 事前の走行ルート確認

電力使用量削減

屋内

- ・ 必要のない照明はこまめに消灯する。
- ・ エアコンの設定温度表示・厳守
(暖房 24℃ 冷房 26℃)
- ・ 未使用時の電源オフの徹底をする。

屋外

- ・ プレス機・被覆電線処理装置の交互運転をして最大電力を抑える。
- ・ 無駄な消費電力削減のため、切断機刃物の定期交換を5ヶ月目安に行う。
- ・ 未使用時の電源オフの徹底をする。

② 廃棄物量削減

- ・ 納品時の容器移し替え(プラスチック・袋等)を徹底する。
- ・ 繰り返し使えるドラム缶・鉄箱使用により容器の廃棄物を出さない。

③ 水使用量削減

④ グリーン購入の推進

- ・ 各項目削減に繋がる商品を購入する。
- ・ 節水型蛇口に交換し、節水に取組中。
- ・ 溜めすぎを心掛ける。

⑤ 事業項目

車輛の燃費向上

- ・ 銅を選別する際に使用する水は雨水を利用する。
- ・ エコドライブ・アイドリング等の実施をする。
- ・ 燃費を従業員全員で意識し把握する。

3S の徹底

屋内

- ・ 清掃リストの作成・実施を行う。
- ・ 不用品・長期保管品は処分をする。

屋外

- ・ 品名・パレット・コンテナ等種類別に定位置管理を徹底、維持する。
- ・ 不用品・長期保管品は処分をする。

7. 環境目標の実績

方針		2017 年度目標と達成状況			
二酸化炭素 排出量抑制	軽油消費量削減	2015 年度比	4%削減目標	19,678 l	目標未達成 達成率 85%
		実績		23,082 l	
	電力使用量削減	2015 年度比	4%削減目標	36,658kWh	目標達成 達成率 108%
		実績		33,676kWh	
二酸化炭素排出量				80,131kg-CO ₂	
廃棄物削減		2015 年度比	4%削減目標	38,486kg	目標達成 達成率 140%
		実績		27,412kg	
水使用量削減		2015 年度比	2%削減目標	104.86 m ³	目標達成 達成率 104%
		実績		100 m ³	
グリーン購入の推進		2015 年度比	+4 品目目標	27 品目	目標達成
		実績実績		30 品目	
事業項目 車輛の燃費向上		2015 年度比	4%向上目標	3.70km/l	目標未達 達成率 99%
		実績		3.73km/l	
3S の徹底					

* 二酸化炭素排出量は 2014 年度発表の東電の排出係数 0.525 を用いた。

* グリーン購入対象商品は環境対応商品をすべて含める。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価

二酸化炭素排出抑制

軽油消費量削減

- 取組事項 -

- ・ 定期的にオイル交換等の点検をしたり、整理整頓をして走行距離を減らすようにした。
- ・ 不定期に軽油削減目標の取り組み具合を表とコメントにし、休憩所に掲示する。
- ・ フォークリフトの燃費についても考えた。

- 評価 - 目標達成率 85%

目標よりも 3,404 l オーバーしてしまった。前年度よりもかなり消費量が増えている。しかし、トラックだけでみるとトラックの軽油消費量は削減できた。従業員の増員により、重機の稼働率が増えたと考えられる。

電力使用量削減

- 取組事項 -

- ・ エアコンの設定温度を守り、照明をこまめに切る。
- ・ 電力を一度に使用しない為にプレス機、被覆電線処理装置を同時に使用しない。
- ・ 不定期に電力使用量削減目標の取り組み具合を表とコメントにし、休憩所に掲示する。

- 評価 - 目標達成率 108%

2 月の電力使用量がプレス機の稼働率が高かった為、だいたいの平均よりも 1,500kWh も多かった。しかし、全体的に電力使用量は減っている。これは被覆電線処理装置の稼働が減っているためなので、

今後、中期目標を新しく立てる時には、被覆電線処理装置の稼働予定を検討しながら慎重にしたい。

🍃 廃棄物量削減

- 取組事項 -

- ・ 整理整頓をしながら廃棄物の置き場を決める。

- 評価 - 目標達成率 140%

昨年度同様に、ナゲットの出荷量が減っている為、ナゲット処理時に出る廃プラスチックが削減できた。

🍃 水使用量削減

- 取組事項 -

- ・ 水使用量が増えていることを貼り紙等で従業員に知らせ、節水の意識を高める。

- 評価 - 目標達成率 104%

前半はなかなか目標達成できなかったが、毎月かなりの節水ができた。以前は使用済みの軍手の手洗いで水を使用していたが、なるべくきれいな軍手だけを手洗いで再使用するようにした為、目標達成につながったかと思う。

🍃 グリーン購入推進

- 取組事項 -

- ・ グリーン購入したものをリストにして把握している。

- 評価 -

目標を達成できた。グリーン購入対象商品の種類が増えてきたので購入しやすくなった。

🍃 事業項目

車輦の燃費向上

- 取組事項 -

- ・ 燃費の推移をグラフにして休憩所に掲示する。

- 評価 - 目標達成率 99%

トラックの軽油消費量自体は前年度よりも減っているのに燃費の目標達成ができていない。車体1台1台の走行距離と給油時の燃費を把握し、車の劣化が原因なのか、走行方法が原因なのかを調べて改善したい。

🍃 3Sの徹底

- 取組事項 -

- ・ 廃棄物の処分と同時に片づけをして定位置を決める。

- 評価 -

入荷、出荷のタイミングで片付いたり散らかってしまったりする。商品の置き場を以前に作ったところも気づくとぐちゃぐちゃになっていたりするのできれいな状態を維持する方法を考えたい。また、カッターなどの作業備品がよくなってしまふ。備品も使った後は数を確認するなどをしてしっかりと管理したい。

🍃 太陽光発電の導入

- 取組事項 -

- ・ 会社の敷地を利用して48kWの発電を行っている。

本年度は 50,475kWh の電力を発電できた。

9. 次年度の取組内容

① 二酸化炭素排出抑制

軽油消費量削減

無駄な走行がないかを従業員と話し合い、構内の整理整頓をしっかりとし、フォークの走行距離を減らす。
車輛の整備をしっかりとる。

電力使用量削減

未使用時の電気製品、設備の電源をオフにする。
プレス機の適正投入量の再確認をする。

② 廃棄物量削減

ナゲット処理の状況を把握し、廃プラスチックが削減できているかを判断する。

③ 水使用量削減

節水の貼り紙をしたり、グラフなどを利用して節水を促進する。
手洗いで再使用する軍手を洗う前に選別する。

④ グリーン購入推進

グリーン購入対象商品で使い勝手が良いものは継続して使用し、目標を達成したい。

⑤ 事業項目

車輛の燃費向上

トラック 1 台 1 台の走行距離と給油時の燃費をしっかりと把握する。
直近の燃費が分かった時点で、燃費の良い時と悪い時では何が要因なのかを運転手と考える。

⑥ 3S の徹底

整理整頓がされているところを写真に残し、それを基準にしていけるように掲示をする。
定位置管理も徹底する。(カッターなどの備品も含む)

10. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

1. 主な環境関連法規等の遵守状況

法令等の名称	要求事項等		遵守 チェック 可否
	対象・施設・設備	規制基準	
下水道法		生活排水のみ	合
廃棄物の処理および清掃に関する法律	排出業者	マニフェストの管理 委託契約書の締結	合

NOx・PM法 八都府市条例	4tトラック 大型・10tトラック	1台 2台	ディーゼル車規制の 適合車であること。	合
使用済み自動車の再 資源化等に関する法 律			リサイクル料金の預 託	合
栃木県生活環境の保 全に関する条例	機械プレス 被覆電線処理装置(せんだん機) 万能粉碎機(せんだん機)	能力 230t 出力 37kW 出力 37kW	騒音 65 デシベル 振動 65 デシベル	合

2.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

全体の運用状況等の概要				
情報の項目	結果等			
環境への負荷の自己チェックの結果	2018年8月10日にチェック。			
環境への取組の自己チェックの結果	2017年7月25日にチェック。291/320			
環境関連法規の制改定情報	2018年8月17日にチェック。			
環境負荷の監視・測定の結果	騒音、振動に関して特に異常なし。			
遵守状況のチェック結果	2018年8月17日 遵守状況チェック実施。			
環境目標の達成状況 環境活動計画の実施状況	達成状況			
	項目	実績	目標達成率	評価
	軽油消費量削減(ℓ)	23,082	85%	未達成
	電力消費量削減(kWh)	33,676	108%	達成
	廃棄物排出量(kg)	27,412	140%	達成
	総排水量(m ³)	100	104%	達成
	グリーン購入(品目)	30	111%	達成
	事業項目 燃費向上(km/ℓ)	3.73	99%	未達成
	二酸化炭素排出量 80,131 kg-CO ₂			
教育・訓練の状況	環境目標・活動計画の実施説明は事務所に掲示している。 従業員全体での教育は平成30年5月16日実施。			
外部からの苦情・要望とその処置結果	平成29年7月1日～平成30年6月30日現在 特に苦情・要望の申し出はなし。			
環境上の緊急事態の訓練結果	平成30年5月16日実施。			
問題点の是正・予防の結果	2件の是正あり。 軽油消費量、車輛の燃費向上の目標未達成。			
環境文書・記録の制定、改廃の結果	「環境経営マニュアル」によって管理。			
その他	3Sでは備品の管理をもっとしっかりしていきたい。 太陽光発電で50,475kwhの電力を発電できた。			

総合コメント及び指示事項:

電力使用量、廃棄物量削減をととてもよくできた。半面、軽油消費量がまだまだ目標を達成できていないので削減の施策を再検討したい。従業員一人一人が軽油消費量や燃費について関心を持ちやすいようにグラフを使用したり、トラックの走行状況などを、随時、運転手に確認しあえる状態を整えてほしい。